

2012年 9月 5日

No.162

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 東 篤

富山市下新町 8-16

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

参議院での問責決議可決後の9月3日に、決算委(准総括質疑)が開催されました。異例ともいえる委員会開会でしたが、2013年度予算編成に2010年度決算審査の成果を反映させるとの位置づけで行われました。

政府や政治が一方的に公務員の賃金削減を行なうことは許されない

冒頭、**又市征治副党首**は安住財務大臣に、「財務省が総務省を通じて自治体に公務員給与の削減を求めることを決定した」との一部マスコミ報道の真偽、また総務大臣が先日の総務委で、「地方に公務員給与の削減を要請したり、強制したりしない」と発言したが財務省も同一見解かと質しました。安住大臣はマスコミ報道を否定し、総務大臣と基本的には同じ見解としつつも、国における取り組みを参考に、定員や給与水準等に関して更なる行革の実行が必要だとの認識を示して、地方での自主的対応を求めるとの姿勢を示しました。

ズサンな特別会計予備費の計上是正を求める



つぎに**又市副党首**は、2010年度の特別会計予備費の使用割合が0.2%であったことを踏まえて、いかなる根拠にもとづいて予備費が計上されているのか、また過去10年以上さかのぼってみても使用実績が少ないことを指摘して、予備費の圧縮、見直しを求めました。安住大臣は、予見し難い不足に備えていると答弁しつつも、**又市副党首**の指摘については傾聴に値する部分もあると述べ、適切な予算になるように配慮していくと答弁しました。

執行率が異常に低い拉致問題対策関連予算

さらに**又市副党首**は、内閣府の拉致問題対策関連費の執行率の低さについて、先の委員会でも明らかにされた情報関係費だけではなく、他の項目についても該当することを指摘するとともに、拉致問題解決のためには日朝平壤宣言を踏まえた真摯な協議こそが求められており、やたらと敵対感情を煽るのは対話の阻害になると指摘しました。松原拉致担当大臣は、予算計上について執行状況を踏まえて見直しを進めるとともに、必要額を確保したいと答弁しました。玄葉外務大臣は、宣言は生きており、不幸な過去を清算して国交正常化を図るために全力をあげたいと答弁しました。

必要な世帯に生活保護が行き渡るようにするのが厚労省の役割だ

又市副党首は、2010年の厚労省の調査によれば、所得だけを考慮した場合、本来生活保護を受けられる世帯の15.3%しか受給していない可能性があることを指摘するとともに、厚労省が全銀協との間で不正受給の疑いがある人の、本店を通じた資産一括調査について協議をしていることに言及しつつ、生活保護政策の進め方についての厚労省の見解を求めました。小宮山厚労大臣は、本当に保護を受ける必要な人が、受けられないといったことがないようにすることを基本としつつ、秋に生活支援戦略を立てるとともに、不正受給の防止に知恵を出したいと答弁しました。